

介護準備学（お金）コース

あなたの人生設計が狂わないよう！体験者が語る備えておきたい知識を集結

「突然の介護に備える介護準備経済学」

～家族に介護が必要になったらどこに相談するか、介護の費用は知っていますか？～

【主旨】

急速な高齢化に伴い要介護者が増加する中、同居別居に限らず、介護にまったく無関係では済ませられない時代となりました。突然家族や、親に介護が必要になったらどこで介護するのか、また、いざ自分自身が要介護状態になった時に備えて介護費用をどう準備しておけばよいか等、いずれ直面するかもしれない介護を前もって「準備学」という位置づけで考えてみることはとても大切です。

本コースでは、家族で介護が必要になる前に考えておくべき心構えや介護費用、使える行政サービス、自身の人生設計を狂わすことがないように、今からできる介護準備とはどのようなものなのか、専門家による講義を通じて考えていきます。

ご家族、ご自身の「いざという時」に備えて、介護を費用の面から学ぶことを目的としています。

【概要】

- ・参加対象：被保険者及びその家族
- ・時間：10：00～15：00
- ・配布資料(予定)：専用教材、レジュメ、電話相談センターの案内
地域別保健福祉サービス情報「あなたの町の保健福祉サービス情報」

【介護準備学(お金)コースのポイント】

・<講義> 破綻しないための介護のポイント ～制度、費用、心構え～

介護準備を考える際、その費用は必ず大きな心配となります。介護経験者の立場から、介護の心がまえ、親のお金の守り方に加え、介護の期間と費用、介護保険サービスを活用するポイントを学びます。一人で抱え込まない介護体制づくりなど分かりやすく解説します。

<講師のプロフィール：株式会社コミュニケーター 代表取締役 横井 孝治氏>

2001年、印刷会社でコピーライターとして就業中、離れて暮らす両親の突然の介護生活が始まる。戸惑い手探り、独学で介護を行う中、介護問題に対し強い関心を持つようになる。現在は介護関連の複数のWebサービスを運営する傍ら、日本全国での講演活動、書籍などの執筆活動、テレビや新聞などのメディア活動などを展開している。

・<講義> いざ介護になった時を考えて！

介護離職をしないために、自身の人生設計も考えた上で、年金の貯蓄方法や、その貯蓄でどのように介護をするのかを考えます。

【参加者名簿に記載していただきたい内容】

- ・参加者氏名、性別、年齢
- ・介護中か否か（講義内容に反映させるため、報告内容を集計し、担当講師に事前に伝えます。）
- ・参加者及び介護者の居住市町村名（上記配布資料の地域別保健福祉サービス情報を配布するため）
※住所の番地までは必要ありません。市町村名までで結構です。
- ・講座の中で特に聞きたい点、事前の質問事項など（任意です。講義内容に反映できるよう、報告内容は集計し、担当講師に伝えます。）

【受講案内時に告知していただきたい内容】

- ・実技はありませんので、服装等の注意事項はありません。